

佐賀大学



総合情報基盤センター・ニュース

CNC News No.5 2006.4.28

<http://www.cc.saga-u.ac.jp/>

問い合わせ

メインセンター(本庄地区) :8592

医学サブセンター(鍋島地区) :2154

1. PCを学内LANに接続する場合の注意
2. 偽スパイウェア検出ソフト「WinFixer2005」に対する注意
3. 2月、3月の作業報告

1. PCを学内LANに接続する場合の注意

新年度になりPCの学内LAN接続が増えていますが、ウイルス対策ソフトがインストールされていないなどウイルス対策が不十分なPCもあるようです。学内LANに接続するPCについては、各研究室等で下記の項目を確認し一つでも項目を満たしていないPCは学内LANに接続しないようにしてください。

- (1) ウィルス対策ソフトがインストールされ、最新の「ウィルス定義ファイル」に更新できること。
- (2) OSに最新のセキュリティパッチ(WindowsUpdate)が当たっていること。
- (3) 「Winny」などのファイル交換ソフトがインストールされていないこと。

また、ウイルス対策ソフトがインストールされておらず、動作が不安定になっているPCについては、最新のウイルス対策ソフトをインストールしウイルスチェックを行ってください。PCがウイルスに感染していないことが確認できるまでは、絶対に学内LANに接続しないようにしてください。

2. 偽スパイウェア検出ソフト「WinFixer2005」に対する注意

偽スパイウェア検出ソフト「WinFixer2005」の被害が広がっています。本学でも動作が不安定になったPCに「WinFixer2005」がインストールされていた事例が出ています。

この「WinFixer2005」がインストールされるとあたかもスパイウェアのスクランを行いスパイウェアを発見したかのようなメッセージを出し、スパイウェアを駆除するために「WinFixer2005」の購入を促す画面が表示され、「今購入」ボタンをクリックするとクレジットカードの情報を入力する画面が表示されます。

ウイルス対策ソフトメーカーは、この「WinFixer2005」がクレジットカードの情報を収集することを目的としていること。また、PCの動作が不安定になるなど悪質なスパイウェアとして「WinFixer2005」をウイルス対策ソフトでの駆除対象にしています。

AntiVirusなどのウイルス対策ソフトで「WinFixer2005」は駆除できますので、必ずPCにはウイルス対策ソフトをインストールし「ウィルス定義ファイル」を最新版にしてウイルス対策をしっかりと行ってください。また、「WinFixer2005」と類似した偽スパイウェア検出ソフトに「WinFixer2006」、「WinAntiVirus2006Pro」、「WinAntiSpyware2006」等がありますので、これらのソフトにもご注意ください。

3. 2月、3月の作業報告

2月、3月に行った主な作業などです。

- (1) メインセンター新システム機器搬入、新システムへの移行作業、新システムの調整作業
- (2) メールなどの既存サービスの新システムへの対応作業
- (3) 新入生、4月より転入及び新採教職員のユーザID発行作業
- (4) 農学部1号館のネットワーク接続、南棟のネットワーク構築作業
- (5) 事務局、学生センター、留学生課、農学部総務係の事務業務用LANへの移行作業

なお、その他の業務及び作業内容などは、情報基盤センターのホームページにセンター日誌として載せています。